

第 14 回外洋加盟団体長会議 議事録

開催日時：2021 年 1 月 24 日(日) 13:00～15:50

開催場所：オンライン会議 (ZOOM)

出席者

理事

馬場益弘副会長、中澤信夫副会長、大村雅一常務、平松隆、橘田佳音利、望月宣武
菊池邦仁、岩瀬善貞、安田大助、宇都光伸、中村隆夫、中村和哉、

加盟団体 (代表又は代理)

外洋津軽海峡会長 木浪英喜、外洋いわき会長 菊池 郁仁 (理事兼)、
外洋東京湾会長 足立利男、外洋三崎 (会長代理) 近藤等、
三浦外洋セーリングクラブ会長 庄野栄一、外洋湘南会長 平井昭光、
外洋駿河湾 久保田浩、外洋東海会長 坂谷定生 (参与兼)、
外洋近北 (会長代理) 守本孝造、外洋西内海 (会長代理) 小山悟、
外洋玄海会長 沼田浩行、外洋南九州会長 宇都光伸 (理事兼)
外洋沖縄 (会長代理) 徳田恭紀

専門委員会・WG

外洋計測委員会委員長 八木達郎、ORC 委員会委員長 吉田豊
レース マネージメント委員会外洋小委員会委員長 三浦信朗
ルール委員会外洋小委員長 日下部大蔵、
国際委員会外洋小委員会委員長 船澤泰隆、
ジャパンカップ委員会委員長 服部好彦、
オリンピック外洋小委員会委員 鈴木一行

WG・参与

会員増強WG 平松隆 (理事兼)、艇登録WG 作田智恵子、坂谷定生参与

加盟団体 (事務局)

外洋津軽海峡事務局長 井口隆太、外洋いわき事務局長 菊池邦仁 (会長兼)
外洋東京湾事務局長 望月規矩雄、外洋三崎事務局長 中里英一、
三浦外洋セーリングクラブ事務局長 坂口城治、
湘南事務局長 作田智恵子 (艇登録 WG 長兼)、外洋駿河湾事務局長 遠藤智
外洋東海事務局長 坂谷定生 (会長兼)、外洋内海事務局長 猪上忠彦、
外洋西内海事務局長 小山悟、外洋玄海事務局長 (代理) 沼田浩行
外洋南九州事務局長 市来孝夫、外洋沖縄事務局長 徳田恭紀

外洋事務局長 鈴木保夫、

JSAF 事務局 寺澤 寿一

(順不同 敬称略) 合計 42 名

大村常務理事が議長となり、議事録確認署名人に、沼田浩行氏、三浦信朗氏兩名を指名して開始された。

I. 挨拶（馬場副会長）

コロナの中、多数の方に会議にご参加頂き感謝しています。

昨日の全国代表者会議において JSAF のビジョンが報告された。

コロナ禍で、現在の状況はレースに例えるとスタート前のマニューバリングをしていると思っています。

2024 年パリのダブルハンドに向けて、日本の裾野を広げるために 5 月に和歌山から蒲郡までのレースを計画している。今年のパールレースの中にもダブルハンドを設けたい。

外洋の活力があり、輝けるような年になるように努力したい。

II. 議事

1. ダブルハンドレースの振興と「外洋ダブルス（ダブルハンド）日本選手権 2021 について

馬場副会長：今のところ今年の世界選手権開催の情報は無い、昨年度は予定されていたがコロナで中止となった。

5 月にダブルハンドレースの開催を計画している。和歌山はオリンピックの強化でも使われているので、感染対策がしっかりとられている。和歌山スタートで蒲郡までのレースを 4 月 30 日から 5 月 4 日の予定で開催したい。男女を問わずにダブルハンドで行う。

男女ペアについては外洋選手権レースへの派遣の参考にする。

以上の説明に対し以下の質疑がなされた。

平井：オリンピック委員会の資料では参加資格が男女のダブルスだが、このレースでは男女を問わない、この住み分けはどのように考えるか。

また、国際ダブルス協会ができていますが日本もダブルス協会を設立して加盟したらどうか。

馬場副会長：参加者のすそ野を増やすために男女だけではなく・男男・女女・のクラスも設けた。国際ダブルス協会は個人登録の協会です。

三浦：ワンデザインで行われる予定の大会予選になる可能性があるレースでレーティングバンドをもった予選会を開催するのは如何なものか。

馬場副会長：本来はワンデザインの艇が望ましいが、現在のところ日本に艇がなく無理なため、参加者をふやす為にもレーティングバンドを採用した。

2. セールナンバー発行規則について

セールナンバー発行規則について、鈴木 WG 委員より規則案を検討した経緯及び内容が説明され、次に作田 WG 長より、セールナンバー発行規則、現行の外洋艇登録規則との違い、現行艇登録規則の改定点が予め出席者に送付済の資料に基づき説明された。

次に大村常務より、日本中の外洋ヨットにセールナンバーを付与するための方法が図で説明された。

これに対して以下の質疑がなされた。

八木：艇登録証の発行はするのか。

WG：新制度の登録艇に対しては考えていない。

坂谷：方向性は確認できたが、参加資格のところは規則が2本あると分かり辛いので、1本化して現行の外洋艇艇登録規則の中に組み込んでから運用した方が良い。

中里：セールナンバーの後に記号付けたらどうか。JCIの船検の要件にナンバーが必要、ということにしないと普及しない。

沼田：艇を買い替えた時に旧ナンバーを新しい艇に付ける時の追加発行料を値上げせず現在の5万円に据え置きして欲しい。

庄野：現在の艇のデータ整理はできているか。

今後はデータの管理はJSAFが行い、加盟団体は関係しないということで良いか。

WG：現在の登録艇のデータは100%近く整理できている。

従来の登録は今まで通り加盟団体経由で行うが、新制度での登録はJSAFで直接受け付ける。加盟団体に問い合わせがあった場合は、JSAF直接登録と伝えていただきたい。艇の管理はJSAF事務局ではなく、艇登録事務局で一元管理する。

足立：基本的に賛成だが、事務局の負荷に対する懸念と継続に懸念があるのでしっかりとやってもらいたい。

非会員へのアピールが大変と思う。

平井：基本的に賛成。JSAFと加盟団体の有り方に懸念がある。会費についてもそうだが色々なものがJSAFに集中して行く傾向があるので事務局に負担が掛かることを懸念する。

現在の加盟団体の事務局が横断を刺して手を取り合って協力してやって頂きたい。

岩瀬：外洋東海は120艇の内40艇はレースに出ていない。

このままでは会員が減少する。

会員減少に対して会員から戸惑いが出ている。

宇都：鹿児島でもセールナンバーが付いていない艇や、ついていても非会員の艇もある。

法律と絡めていきたい。

作田：湘南の事務局長として、これを機に団体として検討して行きたいと考えている。

以上の質疑に対して大村常務より、意見のある方は1月中にご意見を頂きたいとの発

言があった。

3. 各専門委員会からの報告

- ・レースマネジメント委員会（三浦委員長）

合同委員会の案内と合同委員会は全てオンラインでおこなうことが説明された。

事業計画については、JSAF ホームページのレースマネジメント委員会の部分の再構築をしていること、加盟団体のレース関係の委員の整理をすること、レースのトラッキングシステムの情報収集をしていること等が説明された。

- ・ルール委員会外洋小委員会（日下部委員長）

資料に基づき活動報告と計画の説明がされ、ルールの改正ポイントについては、スタートとフィニッシュ、附則 G、装備附則、スピナーカー、灯火の使用、セールの対照色について等が説明された。

- ・安全委員会（大坪委員長）

委員長欠席の為資料及び報告無し。

- ・計測委員会（八木委員長）

八木委員長より IRC 登録艇の推移、ヘッドセールのルールと計測料金に変更があることが説明され、吉田 ORC 委員長からは、2020 年は世界的にレーティング取得数が減り、ORC の証書発行が約 7,500 枚、IRC が約 2,800 枚、ORC ではダブルハンド証書を約 2,500 枚発行したこと、及び 2020 年の日本の ORC 証書発行が 31 枚。2021 年は ORC の証書発行艇にはもれなくダブルハンド証書を付けること等が説明された。

- ・オリンピック小委員会（鈴木（一）委員）

最近ダブルハンドレースが「ダブルス」というネーミングになったこと、今年はダブルスについての動きがコロナでまだなく情報がないので入り次第対応すること、ダブルスを支援するために「国際ダブルス協会」が設立されたこと等が資料に基づき説明された。

続いて同委員から環境について、海洋大学と JSAF が協定を結びマイクロプラスチックに関するパンフとビデオを作成したことのプレスリリースが行われたこと、パンフは 2,000 部作製したので希望する団体があれば配布するとの報告があった。

- ・キールボート委員会（金子委員長代理 中澤副会長）

ニューヨークヨットクラブのインビテーションナルカップに馬場副会長の「サマーガールスコードロンチーム」が船澤氏をキャプテンとして参加することが報告された。

- ・外洋常任委員会（大村常務）

2021 年度の事業計画として、外洋艇登録事務局の設置、WH オフショアレースの支援、安全、艇とクルーのマッチングシステムの構築等の事業と予算総額 1,048 万円を要求したこと及びマッチングシステムや安全通信に関する検討チームの設置の計画

が報告された。

- ・平松理事より、JSAF カレンダーの購入申し込みがまだできることの報告がされた。

4. 各加盟団体からの報告

各団体から以下の報告がなされた。

- ・外洋北海道（欠席）

- ・外洋津軽（木浪会長）

青函ヨットレースはコロナで中止、大雪のせいで事故があった。

- ・外洋いわき（菊地会長）

マリナーがまだできていないので、漁港をベースにセーリングを始めた。

- ・外洋東京湾（足立会長）

4月の東京湾カップ、8月のトーキョーズカップも中止、ベイサイドオープンレースはパーティー無しでレースのみを実施し、10月のインショアレガッタもパーティーを簡略して実施した。

今年は4月に東京湾カップ、8月にトーキョーズカップ、10月にインショアカップを計画している。

- ・外洋三崎（中里事務局長）

小笠原レースは中止、関東のレースの情報は4団体のHPに掲載している。

- ・三浦外洋セーリングクラブ（庄野会長）

レースは4団体まとめてHPに掲載しているが全てはコロナ次第。

- ・湘南（平井会長）

昨年後半は感染対策をしてできる範囲でレースとイベントを実施、今年も例年と同じレースを予定しているが、コロナ次第なので感染対策をやりながらやっていきたい。

- ・外洋駿河湾（久保田会長）

昨年は9月からレースをやったが今年はコロナで先が見えない。

- ・外洋東海（坂谷会長）

東海も同じように殆どできなかった、10月に1本やったのみ、沖縄ー東海レースの中止を皮切りに全て中止、2021年度は予定通りやりたいがコロナの環境次第。

- ・外洋近北（守本事務局長）

琵琶湖では殆ど中止、ヤンマーカップ1レースのみ、日本海では敦賀でのレース1本のみ実施。

- ・外洋内海（会長欠席）

- ・外洋西内海（小山事務局長）

11レースの予定だったが、1レースがコロナと豪雨で中止となり、10レースの開催となった。レースのみの味気ない開催となった。

- ・外洋玄海（沼田会長）
イベントレースが全て中止、クラブレースは7月以降12月まで実施した。今年はア
リランレースの予定年だが韓国と連絡を取り中止にした。
九州カップは長崎で開催を予定している。
- ・外洋南九州（市来事務局長）
8月まで開催を自粛、艇長会議はZOOMを活用して接触しない形で実施、クラブレ
ースは続行の予定。自治体のレースは離島のレースなので全て中止、今年は実施の予
定で進めている。火山島レースは9月にずらして予定している。会員数は会費が自動
引き落としの為維持できている。
- ・外洋沖縄（徳田事務局長）
昨年のレースは全て中止、今年は6レースを計画しているが離島レースは調整中。
久米島レースは開催の方向で検討。

5. その他

馬場副会長：コロナで会員が1,000人減少している。その中で学生がヨットから離れて
いるので、地方で就職してもヨットへの伝手が無いので、アイデアがあれば学生に知
らせて欲しい。大学生とキールボートを繋げていきたい。

大村常務：マッチングシステムはJSAF広報委員会が掲示板の作成を進めている。

宇都：万一、セーリング関係のイベントやレースでコロナ感染が発生したケースがあっ
たら、今後の感染対策につなげる意味でも各団体にぜひ情報共有をお願いしたい。

最後に中澤副会長の、リビエラの「シナーラ」がクラシックボートアワードにノミネー
トされたので投票をお願いしたい。

セーリングはコロナの感染対策をしやすいのでピーアールをしていきたい。

との閉会の挨拶で閉会となった。

次回の開催は9月、夏頃に案内予定。

以上

議事録署名人 沼田浩行

同 三浦信朗